

# **GraspPlugin Manual**

ホーム > Grasplan > Grasplan 環境構築

## Glasplan のインストールとビルド

水, 02/02/2011 - 14:20 — drupal

Glasplan のインストール手順を以下に記す。

### 必須ソフトウェアのインストール

Glasplan のインストールに先立ち、OpenRTM と Choreonoid をインストールする必要がある。

- 1. OpenRTM のインストール
- 2. Choreonoid のインストールとビルド

これらがすでにインストール済みであれば、この項はスキップして Grasplan インストール から作業を始めることができる。

### Grasplan インストール

Grasplan は Choreonoid のプラグインとして提供される。

#### graspPlugin のチェックアウト

Choreonoid の extplugin 以下に、graspPlugin のソースをチェックアウトする。

九州大学のサイトからだと

% cd ~/workspace/Choreonoid/extplugin

% svn co http://subaru.ait.kyushu-u.ac.jp/svn/grasp-plugin/trunk/graspPlugin

であり、産総研のサイトからであれば(openrtp.jp/svn の認証が必要)

% cd ~/workspace/Choreonoid/extplugin

% svn co https://openrtp.jp/svn/hrg/grasp-plugin/trunk/graspPlugin

# インストールスクリプトを実行

graspPlugin のインストールスクリプトを実行する。(パスワードが必要)

% ./graspPlugin/Grasp/install-requisities-ubuntu.sh

#### ccmake を使ったビルド

grasplan をプラグインとして導入するため、ccmake で Choreonoid のビルド設定を変更する。

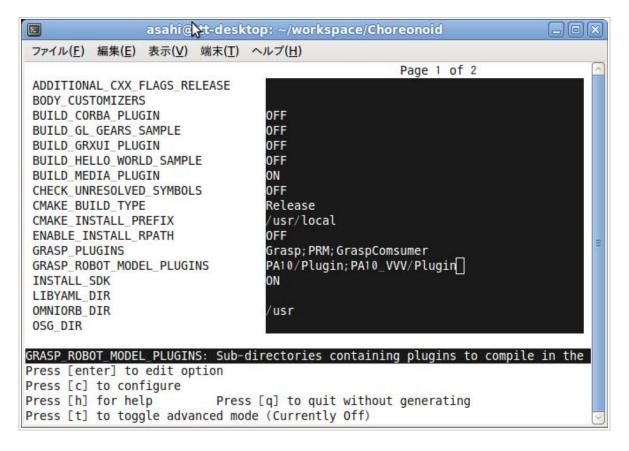
% cd ~/workspace/Choreonoid

% ccmake .

ccmake では、画面の左半分に白地で表示される項目がキーで、右半分に黒地で表示される項目がキーに対する値となる。 上下のカーソルキーを使って目当ての項目に移動したら、エンターキーを押すと値を編集することができる。 値を修正したら、もう一度エンターキーを押すと、再びカーソルキーを上下に動かせるようになる。

2度cキーを押して configure すると、GRASP\_PLUGINS と GRASP\_ROBOT\_MODEL\_PLUGINS の二つの項目ができる。

1 / 5 2011/11/17 17:28



#### それぞれに対して、以下の値を設定する。

**キ**− GRASP\_PLUGINS

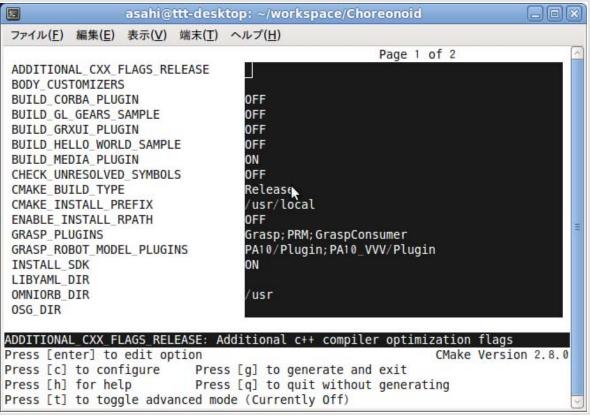
值 Grasp; PRM; GraspConsumer; GripperManipulation; GeometryHandler

**+**− GRASP\_ROBOT\_MODEL\_PLUGINS

值 PA10/Plugin; PA10\_VVV/Plugin; HIRO/Plugin

値を編集したら、「c」キーを押して configure を行う。

数秒後に configure が無事に終了すると、画面の下のキーメニューに新しく「Press [g] to generate and exit」の項目が出る。



「g」キーを押すと、makefileが生成され、ccmake が終了する。

2 / 5 2011/11/17 17:28

ここで make を実行して、Choreonoid とプラグインをビルドする。

% make

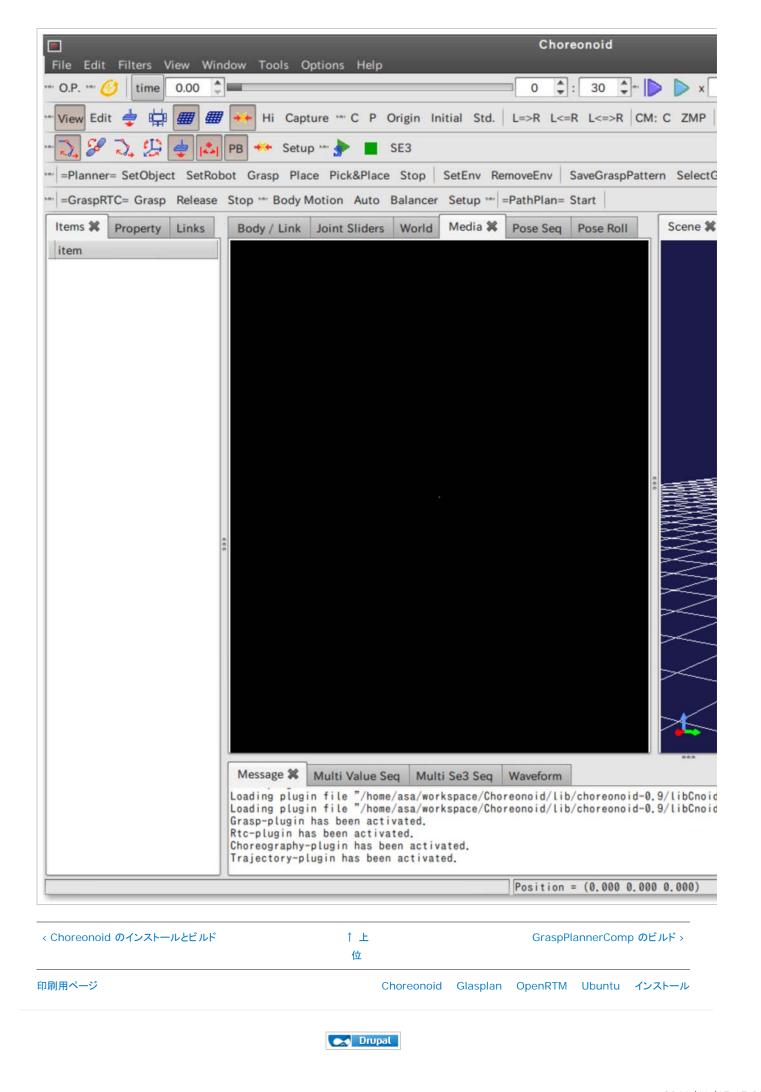
# 実行

choreonoid を実行する。

% bin/choreonoid

以下のような画面が出たら成功。

3 / 5  $2011/11/17 \ 17:28$ 



4 / 5

 $5 \ / \ 5$   $2011/11/17 \ 17:28$